

令和5年度史跡内確認調査計画について

1 遺跡名

国指定史跡 下寺尾官衙遺跡群

国指定史跡 下寺尾西方遺跡

2 調査地点

神奈川県茅ヶ崎市下寺尾字西方549番2ほか

3 調査目的

－1 遺跡について

- ・郡家内西側の官衙関連遺構・遺物の確認
7次調査で確認された掘立柱建物址の規模、整地等の詳細確認
7次調査東端の溝状遺構の確認
- ・官衙直前（古墳時代後期）、直後（平安～中世）の遺構・遺物の確認
- ・弥生時代環濠集落関連遺構・遺物の確認
- ・他時代（縄文時代、近世、近現代）の遺跡状況確認

－2 古環境について

- ・遺跡群が立地する原地形の把握
- ・官衙関連遺構の土地利用についての検討

－3 整備に関して

- ・遺跡の保存状況の把握
- ・旧校舎の地下構造物等の状況把握

－4 公開活用について

- ・史跡および発掘調査への理解を深める場の創出

4 調査予定面積

総面積約525m²

新規調査面積約225m²+復旧面積約300m²

5 調査期間

令和5年7月3日～令和5年9月末（予定）

調査開始前

事前の測量、機材搬入、調査区設定、仮設トイレ設置、草刈

調査初日

重機搬入（回送車による運搬）※搬入時間の事前調整、搬入時の安全確保

調査第1週

調査開始—重機による表土掘削、近現代、近世遺構の調査、7次調査区の復旧開始

調査第2週

近世遺構の調査終了後、中世包含層、中世遺構の調査

調査第3週目

中世遺構の調査、7次調査区の復旧

調査第4～5週目週目

7次調査区の完全復旧、中世遺構の調査終了後、古代包含層の調査

調査第6週目

古代包含層の調査終了後、古代遺構の調査（平面形確認）

調査第7週目

古代遺構の調査（平面形確認）、7次調査区の完全復旧、掘立柱建物址整地層調査

調査第8～9週目

掘立柱建物址整地層調査、掘立柱建物址柱穴調査（柱痕確認、半裁等）

調査第10週目

必要な古代遺構の覆土調査、古代以前の遺構調査、遺構養生

調査第11週目

遺構養生、現状復旧、重機回送、撤収

調査第12週目

撤収予備日

6 調査体制

調査主体 茅ヶ崎市教育委員会

調査担当 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課文化財保護担当職員

調査協力 神奈川県教育委員会

調査支援 株式会社カナコー

調査指導 茅ヶ崎市文化財保護審議会 下寺尾遺跡群等保存・活用部会
文化庁

7 公開活用の方法

－1 現地見学会

・現地見学会を実施する方針で計画。

－2 北陵高校関係者（教員、生徒、保護者、PTA、卒業生等）の見学、学習対応

・現地見学への対応

・事前、事後学習としての講座対応